

動亂中の露國二怪傑(二)

獨逸の末路

さるべからずと論じてゐる

誤解され居る様模なり、右に對して

き不都合あるは其間何等かの缺

陥り難いものはない

事実を基礎

に此等の問

の實業を基盤

に此等の

サンピードロ港の羅府造船船業

前半時の大事件を開始した直ちに工場を去り各自家庭に急ぎた

る大事件惹起せるが今回の罷工は労働者首領連の訓示に従い決行せるものにして

▲首領連の聲明する處によれば

今後別段労働者側は

如き事は行はざるも過

般解雇せる職工の復職を承諾する

三氏はあらば既に解雇し同職に

連続して同職に就く決

心なりこの事にて

▲今回の大事件以前に會社は労働者

より約一週間前に會社は労働者

連絡の理由を以て數多の職工を

突然解雇したるに對し首領連の主張する

處に依れば會社は労働者の技能を毫

能は就職期に關する権利を毫

能はざる釋けなれば職工に解雇

されものにして斯かる行為は明

るものあり若し會社側にて解

かに労働同盟の規約を無視せる

の止むなきものせば労働者

の能はざる釋けなれば職工に解雇

されものにして斯かる行為は明

るものにして斯かる行為は明

